



今月の題字
伊藤美香ちゃん
(豊間根小6年)

町のわだい

手製の押し花しおりを寄贈 読書のきっかけにと願い込め

夢花倶楽部inやまだ(昆加代子代表・会員20人)では、町内各小学校に手作りの押し花のしおりを寄贈しました。同会では活字離れが進んでいるといわれている子供たちのために、本を読むきっかけになればと、およそ半年かけて2,500枚を作成。10月16日には山田南小学校を訪れ、児童会長の今野美優さん(6年)に全校生徒と教諭の分合わせて300枚のしおりを手渡しました。今野さんは「ありがとうございます。このしおりを有効に使って、本をたくさん読みたいと思います」とお礼を述べました。



「まちづくり出前講座」が始まる 町職員が出向き各テーマで講話

町政に理解を深めてもらおうと、10月1日から町職員による「まちづくり出前講座」が始まり、各所で講座が開かれています。10月15日には「コスモスの会」の依頼で役場保健福祉課職員2人が大沢川向集落センターに出向き、「食べ物による健康づくり」と題して講話。会員24人が参加し、骨粗しょう症の予防法と食事について理解を深めました。講座は町内に住む5人以上の団体であれば、どなたでも開催できます。希望の方は役場総務課住民協働推進室(☎82-3111内線440)へお申し込みください。

赤十字 アマチュア無線ネットを設立 災害時の情報収集活動を支援

「山田アマチュア無線ネット赤十字奉仕団」の設立総会が10月14日、町中央コミュニティセンターで開かれました。災害時の情報収集・伝達などの支援を目的に、アマチュア無線ライセンス取得者で設立したもので、総会には5人が出席。役員の選任や今後の取り組みについて協議し、委員長に上野祐一さん(北浜町・47)を選出しました。現在会員は12人。町内に住むライセンス取得者であればどなたでも入会できますので、協力いただける方は佐々木一彦事務局長(☎82-2416)へご連絡ください。



県立山田病院で新築落成式 地域に密着した病院を目指す

10月26日、柳沢地区に移転新築された県立山田病院(及川修次院長)の落成式が同病院で行われ、増田寛也知事のほか県や町の関係者など60人が出席しました。開会に先立ち、増田知事が「新しい山田病院では、ほかの医療機関と連携して医療機能の充実を図り、より信頼される病院運営に努めます」とあいさつ。その後用地提供者に増田知事から感謝状が手渡されました。最後に及川院長が「皆さんの要望に応えられるよう、地域に密着した病院を目指します」と感謝の言葉を述べました。



船越地区 佐々木ハナヨさんが100歳に 家族と長寿を笑顔で祝う

船越地区の佐々木ハナヨさん(明治39年生まれ)が10月26日で満100歳の誕生日を迎えました。28日に沼崎喜一町長が自宅を訪問し、長寿を祝福。「100歳おめでとうございます。佐々木さん、これからも長生きしてくださいね」とあいさつし、長寿祝い金を手渡しました。佐々木さんは受け答えもはきはきとしており、自分の着物を自分で縫うなど、とてもしっかりとされています。この日は佐々木さんの子供から孫、ひ孫、玄孫まで20人が自宅に集まり、笑顔で長寿を祝っていました。



町民体育祭に1,100人 豊間根地区2年連続で優勝

10月1日、町民体育祭が町民グラウンドを会場に開かれました。35回目の今年は11地区1,100人が来場。清々しい秋晴れの空の下、参加者は優勝目指して各種競技や応援に熱戦を繰り広げました。結果、最終競技の「世代にかける橋」(リレー)で男女とも上位に入賞した豊間根地区が、総合順位で3位から逆転し2年連続での優勝。準優勝は船越地区、3位は轟木地区でした。また、今年から地区対抗の応援合戦も行われ、児童によるチアリーダーや勇ましい羽織袴姿での応援を披露した轟木地区が、見事応援賞を受賞しました。